

## 皮膚科この1年

皮膚科医長 伊藤 康 裕

## 診療体制

平成14年3月末に伊藤文彦が退職し旭川で開業、後任として4月から伊藤康裕が赴任しました。7月末に島村智江が産休で退職、9月から池田雄一が赴任しました。

## 外来診療

外来は医師2名、看護師3名で対応し、1日平均患者数は約120名です。長期処方の影響もあり患者数は減少傾向にあります。

## 病棟診療

この1年で入院した患者は89名で、帯状疱疹、蜂窩織炎など感染症が30名と多く、次いで良性腫瘍が20名、悪性腫瘍が13名、熱傷をはじめとする皮膚潰瘍が13名でした。膠原病は強皮症が4名入院しました。

## 手術

手術は124例で、そのうち麻酔科管理は15例でした。植皮術や皮弁形成術などが増加傾向にあります。木曜日の午後は手術室とは別に外来で皮膚生検、小腫瘍の手術、陥入爪の手術など74件行いました。

## その他

平成14年10月から褥瘡対策未実施施設は5点の減算になりました。褥瘡は皮膚科においてあまり注目されていなかった分野ですが、これを機に保存的治療、外科的治療に力を入れていきたいと考えています。

## 平成14年手術内容

皮膚腫瘍単純切縫術	97例
腫瘍切除+皮弁形成術	9例
(悪性腫瘍 3件 良性腫瘍 6件)	
腫瘍切除+植皮術	8例
(悪性腫瘍 7例 良性腫瘍 1例)	
(全層植皮 6例 分層植皮 2例)	
デブリードマン+網状植皮術	6例
デブリードマン+縫合術	3例
CO2レーザー照射術	1例

